

できていますか？ごみの減量・資源化への取組

ごみを処理するためには、多くの費用が必要です。一人ひとりがごみを減らせば、その費用も削減することができます。日々の暮らしの中で、ごみを減らすために心がけていることはありますか。

ごみ減量と資源化の代表的な取組方法をまとめました。家庭でどの程度取り組んでいるかチェックしましょう。

- ・ 買い物に行くときは、マイバッグを使っている。
- ・ 贈り物やお土産などを買うときは、過剰包装を断っている。
- ・ 生鮮食料品は余らないように購入している。
- ・ シャンプーや調味料などは、詰め替えられる商品を選んで購入している。
- ・ リターナブルビン（再使用されるビン）の商品を選んで購入している。
- ・ 修理して使えるものは、できるだけ直して使っている。
- ・ 不用品をリサイクルショップやエコマーケットなどに出品している。
- ・ インクカートリッジは、店頭や学校などの回収ボックスに出している。
- ・ 古紙・衣類は集団回収や行政回収（彦根市による回収）に出している。
- ・ 生ごみは、乾燥させてから燃やすごみに出している。

いくつ該当しましたか？

- ・ 8 から 10（すばらしい）
- ・ 4 から 7（あと少しです）
- ・ 0 から 3（がんばりましょう）

チェックが多くついた人は、ごみ問題に熱心に取り組んでいる人です。今後はチェックが入らなかった項目にも取り組んでください。チェックの少なかった人は、チェック表や「ごみ等の分け方・出し方豆知識」などを参考にし、多くの項目にチェックできるようにご協力をお願いします。